

野の花館だより

2005/秋号 / No.37

9月の声を聴いたとたん台風の相次ぐ襲来です。うずめ公演を目の前に外回りが出来ずはらはらしております。話題性も豊かで期待して早くに動いたのがよかったのか悪かったのか中々盛り上がりず心配しておりますが後3日精一杯頑張りたいと思います。これから上陸予定台風14号通過の後、秋晴れの野の花館に「うずめ」の皆さんをお迎えし、満員のお客さんで「レオンスとレーナ」の開演となることを祈っています。

悪天候の日もっぱらパソコンということでこの便りを書いております。長かった夏休みも親子ともども重要メンバーだった大山ファミリーの小林への転居（お父さんの転勤による）が8月定例会で知らされ…その後はア-っと言う間に過ぎていきました。

9月からの学童保育も月決め低学年が皆無に成り、継続は財政的困難が予想されるため、残念ですがとりあえず9月はお休みと致しました。9月定例会で話し合っただけで現在の野の花館に出きる野の花館の子ども居場所の方向を出したいと思っております。9月になっても2・3人の子ども達が来館して遊んでいました。

今季はうずめ公演のあと、10月29日(土)に「子どもの夕べ2005」の企画があり、いろいろ開きや日向ぼっこのコンサート、国際交流など楽しんでいただけます。遠方の方々もぜひこの機会に野の花館の窓口 ライフを味わいに来てください。お待ちしております。

野の花館 子どもの夕べ 2005

とき 2005年10月29日(土)

スケジュール

- 14:00 受付
- 14:30 いろいろびらき
- 15:00 土呂久伝承紙芝居「十連寺柿」 佐藤マリ子さん
- 15:30 アジアの国々子ども事情交流
(バングラディシュ・中国・インド・ネパール等)
- 16:30 コンサート 日向ぼっこ 出演者 米良 奈甫子 /ピアノ 編曲
塩屋 龍也 /お話 竹笛 竹オカリナ
- 19:00 交流会

コンサート参加費 大人 1500円 子ども 800円 小学生未満無料

交流会参加費 おひとり 1000円(夕食代)(要電話予約 - 前日まで)

間に合う方は観に来てください。！！

野の花館 子ども(中高生)のための舞台公演夏 2005(芸術文化振興会助成)

うずめ劇場若手旅公演「レオンスとレーナ」演出：藤沢友、ペーター・ゲスナー、
原作：ゲオルグ・ビュヒナー、脚本：藤沢友

9月10日(土)19:00～・11日(日)13:00～(開場は30分前)
会場/野の花館(高鍋町)
チケット料金/一般前売り 2,000円 中高生前売り 1,500円(当日500円増)

野の花館 平和を考える集い 2005

この季節になると野の花館では毎年「平和を考える集い」を企画し、60年前のあの悲劇を、戦争の悲惨さ、恐ろしさを伝え「平和」について子ども達と共に考えることにしています。

今夏は、子どもの居場所・おとまり会のプログラムに映画上映会を入れ、次の作品を上映しました。

最後の空襲くまがや(カラー29分)

戦争は、人と人の殺し合いであり、そこに救いは求められない、という事を改めて確認しました。また、戦争がその当時だけでなく、のちのちまで悲劇をひきずってゆく魔物である、ということも痛感させられ、激しい憤りを覚えずにはいられませんでした・・・。

家族で参加していただいた井上さんの感想です。

平和のつどいに参加して 井上志保

「あの映画、悲しかったね。逃げとった女の子が死んだとよね。悲しいのはいややね。怖かった。」と4歳の娘が、帰りの車で言っていました。娘は戦争という言葉もまだよく知りません。私は、親や、祖父母、先生、絵本、舞台、映画、戦争を経験したたくさんの人たちから、戦争は恐ろしい、絶対にやってはいけないということを、小さい頃から教わりました。戦争の話の聞いたり、原爆の写真を見たり、本を読んだりする度に、とっても怖い気持ちでいっぱいになったことをよく覚えています。娘もきっと同じ気持ちを感じたのでしょう。

ニュースや、新聞見ていると、世界から戦争が消える日はとても遠いように感じます。そして日本でも近い将来子ども達が戦争に巻き込まれていくような強い不安を感じます。今こうして自分が親になって、子どものかけがえのない命が輝ける未来を守ってあげたいと強く思います。それには、戦争が起きない世の中をつくる努力をすること、そして戦争をやってはいけないという事を子どもに教えていかなければなりません。

しかし、戦争を経験したことのない自分が、どうやって戦争のない平和な世の中の大切さを自分の子どもに伝えていったらいいのかに難しさを覚えることもありました。でも、過去の戦争について学ぶと同時に、私はこれまでに知り合った様々な国の難民の人々、アジアの国々の人とふれあい、友達になっていくなかで、とても大切なことたくさん学びました。それは、戦争は終わっていないということ。今でも戦争で殺されたり、それによって引き起こされた貧困や、病気で毎日たくさんの人が命を落としていること。そして、自分は彼らと共に今生きているということ。さらに最も大事なことは、自国の歴史、文化、地理をよく知り、そして相手の価値観を受け入れる力、いろいろな人達が共存していくために出せる知恵を持っているということだと思いました。

私は今まで教わったこと、そして実感として感じたことを忘れず、しっかりと子どもに伝えたいと思います。こうして野の花館で親子でいっしょに映画を観、則松さんの体験も聞き、戦争について考える貴重な機会を与えてくださったことを、とても感謝しています。ありがとうございました。

野の花館子育て支援事業 子どもの居場所 2005 ノートより

* 7月29日(金)

今日は、2グループにわかれて大げんかになってしまいました。部屋に石粒までばらまかれて泣きだした子もいましたが、則松さん、大山さんにも手を借り何とか皆で片付け、最後にはお互い手紙を書いて謝りあっていました。みゆきは中立でした。みくの雄弁に感心しましたが、大事になるまでにしてしまった自分のふがいなさを感じました。けれど仲直りしていたので良かったです。(境 美穂)

* 8月1日(月)

登校日でしたが帰りになっちゃん、けいこ、ひろしの3人が来ました。お昼ごはんの前にいねかり(お泊り会でできなかったのを)をしました。先日いねかりをたいそうしたがっていた岩佐さんに電話をしました。が、着いた時には終わっていて、いねの束を干すのを手伝いました。その後お母さんとこうせい君が帰ってもこうき君は残って一緒にごはんも食べました。お昼からはわらの束で家を作って遊びました。お母さんたちも一緒に遊んで、子ども達も楽しそうでした。岩佐家の二人は仲良くわらを敷きつめた部屋づくり。ひろしとなっちゃんはわらのマットに布団をしき、まるでハイジ。まさしはトンネル型たて穴式住居。けいこはいかにもわらの家。をそれぞれ自分のイメージで一生懸命つくりました。こういう事をしていいる時の子ども達の目は、生き生きとイメージに向かって走っていてステキでした。片付けは少し時間がかかりましたが、お母さんの手伝いもあり、無事?!できました。(大山 鷹佐恵)



稲刈り



わら遊び

* 8月11日(木)

なっちゃんが休みのため今日も1人のみくちゃんでした。1人なのが嫌だったのか、ご機嫌ななめでしたが、静かに本を読んでいました。しばらくして読書に飽きたのか舞台の方にやってくると「今日もトランプを持ってきたんだ。」と元気に言ってくれました。今日は7ならべと神経すいじゃくをやりました。記憶力がおちたなあと思います。11時半すぎに早めのお昼ごはんにして2人でお弁当を食べました。お昼ごはんの後は再び読書タイムで自分で本を選んできては、舞台の上で読んでいました。

明日からしばらくみんなと会えなくなるので、さみしいですが、ケガのないように過ぎて欲しいと思います。(二階堂 真理子)

* 8月12日(金)

今日はずいぶん久しぶりに平日の野の花館に来ました。みゆきちゃんが一番に来ました。真っすぐ本棚へ行って本を読みはじめました。みくちゃんも来たら本を読み始めました。みくちゃんは厚い本を読むのが好き~と言っていました。本にあきるとピアノをひきました。たくさんひいて、その後はトランプをしました。7ならべをしていたらなっちゃん came。なっちゃんが来るとお絵かきをしました。たくさんラクガキしました。なっちゃんのお母さんがなっちゃんのお弁当を持ってくるのを待って、お昼にしました。お昼を食べ終わるとみゆきちゃんは帰っていきました。みくちゃんのお迎えが来るまでゴロゴロ、ボノボノして、今日は終わりました。(竹田 恵理)

* 8月19日(金)

久しぶりにけいちゃんとひろしに会いました。今日は、いつもより人数が多く、けいちゃんは本を読み、ほかの人は少しケンカぎみに遊んでいました。とくになっちゃんが思い通りにいかず、イライラしているようでした。お弁当の時もグループができていて、少し緊張感がありました。則松さんにいただいたわらびもちの最後の一つをわけるのも、ひと苦労でした。

次こそは、みんななかよくできるようにしたいです。(藤田 淑子)

* 8月23日(火)

今日は7人の子が遊びに来てくれました。初めてでもうどうしていいか...と思いながらもなんとかまりました! 最初はなっちゃんとひろしくんが仲良く猫になってボール遊びをしていました。そのあと、みんなでボールでなげあいっこになりました。座布団で個室をつかってゴロゴロと平和なひとときでした。でも、その後ひろしくんとみさきちゃんがささいな言葉のいきちがいひろしくんが涙してしまいました。なつみちゃんのなだめてくれたおかげでその場はおさまりましたが、その後なつみちゃんは気げんがななめぎみで、みくちゃんやりょういちくんなどにあたっていました。なつみちゃんはその後は話を互いにしていました。今日は、宮日新聞の方が来られて、みんなで花いちもんめをしました。4年生は最初はイヤがっていましたが、やってみると楽しそうにしていました。ごはんの時はみんな楽しそうにしていたのですが、途中からまたまたなつみちゃんのごきげんが悪くなりごはんを食べた後帰ってしまいました。

その後、けいちゃんとみさきちゃんも帰っていき、4人だけになりました。プールの時間まで外で楽しそうに遊んでいて、ひろしくんはお花をつんでくれていました。みくちゃんとりょういちくんとで絵本を読みました。今日は、7人もいて、みんな思うようにいなくてイライラしちゃったり言葉のいきちがいが多かったように思います。明日はみんな楽しく遊んでほしいと思います。りょういちくんは明日から名古屋で、今日しか会えないようで...。月曜日にまた来ますと言っていました。(植田 緑)



育児だより

* ちなぼん日記 * 金丸 智子

長い長～い夏休みもようやく終わって、秋というところ、

狭い家の中に子どもが4人もころがっているのは実にたえ難かったので、川遊びに、学校のプールにとかなり出歩いた。

千夏2才の夏は というと、7月頭に風邪気味となり、そのまま肺炎になるという有様、普段の食欲はどこへやら、水分をとるのがやっとだった。でも、点滴を打ったらかなり回復し、7月末には水遊びに出歩ける様になった。

川の冷たい水が大丈夫かと気にはなったが、浮輪が気に入ったのか、なかなか帰ろうとはしなかった。

4番目は4ヶ月をすぎ、寝返りを打つ様になった。体重は7Kgを超え、母の身体は痛んでいる。千夏はお姉ちゃんぶりを

発揮し、眠っているのに触ったりおむつかえを手伝って(?)くれたりしている。

嫌でもたくましくなるよねえ、たくさんの人にだっこしてもらい御機嫌な期已である。

さて母であるが、この夏は“チャレンジ”がテーマである。イッセー尾形のワークショップに出たり、映画のエキストラに参加したり、とにかく家にいないのだ。子どもはいても私は私、これでいこうと思っている。



* 夏休み * 伊藤 美穂子

今年の夏は夏勢は7月中旬から水ぼうそうで、楽しみにしていた幼稚園の「お泊まり保育」も「おたのしみ会」も行けず、家でじっと我慢の子であった。

31日にやっと完治して、8月からはめでたくどうどうとお外あそびができるようになった。

ということで、8月2日に寝台特急『彗星』で岐阜に行く計画も水に流れることはまぬがれた。良かった!! 『彗星』はいつも家の前を通りすぎるのを見ていて、いつか乗ってみたいなと思っていたのだった。

当日は夕方5時頃、お父さんに宮崎駅へ送ってもらった。電車が走り出した後、しばらくは夏勢はお父さんとの別れがつかなくてしょんぼりしていた。

しかし、今晚泊まる個室に入ったらもうワクワクして電気をつけたり消したり、音楽をえらんだり自分の座る場所を決め、くつをきちんとそろえ、もう大忙がし。

(親としては、この様子を見ただけでも『彗星』に乗って良かったと思った。)

その後は6時すぎに晩ごはんを食べて7時には眠る準備もととのってしまった。そして7時半には夢の中へ…。

ちょっと興奮しすぎてつかれてたのかなと思っていたら、夜中2時半に目を覚まし、結局朝6時まで外を見たり、ゴソゴソしたりずっと起きていた。夏勢としては夜明けが見たかったらしい、夜が明けてしばらくしたらまた眠ってしまった。

終点の京都でおいて、その後乗り換えを2回して、岐阜のおばあちゃんの家には11時頃に到着した。

たのしい思い出ができた。



* たまちゃんのまき * 大山 磨佐恵

珠代が生まれた高鍋の土地を離れるときがきた。

引っ越しへ向け、まずはじめに珠代を数日保育園に預けることにした。朝「イヤイヤ珠ちゃん保育園行かない!野の花館に行く」とダダをこね、時に大泣きする。そのくせ保育園につくと、何もなかった様にニコリ笑って保育室へ…。

迎えに行く頃にはすっかり保育園児になっていて家では歌をうたってくれる。

日々レパートリーがふえていく我が子を見ながら集団生活はすばらしい…と思う。

生まれた時からずーっとお世話になった野の花館とお別れ。でも小林は近い近い!

また来月あそびに来るね!



事務局日誌より

- 6/10(金) 6月定例会
25(土) パン作り
7/8(金) 7月定例会
23(土) 工作教室・吹き矢づくり
24(日) ヒーリングダンス
30(土) 平和を考えるつどい2005
~31日 映画会・お泊まり会
8/10(水) 8月定例会
21(日) アジア砒素ネットワーク・土呂久ツアー
~22(月) 野の花館宿泊
26(金) 映画鑑賞会「ガラスのうさぎ」
29(月) 大山ファミリーお別れ会



野の花館へのご支援感謝します！

宮沢 厚・里美、友成昌亮、石崎 諭・春江、井上清美、岡田いずみ、西都愛育幼稚園、岸本桂子、藤原慶子、木下昌子、佐藤 亮、境 清治、川崎美智子、高山修二、野田直子、納富俊郎、長嶺保子、高村和子、川野久美、二宮淳祐、橋本佐代、榎原理恵子、長友君子、奥津勝洋、長友早苗、池田育子、竹下 勇、西 香江、蓮野 勇、草開悦子、上野節子、辛島幸子、松丸まき子、岩見雅子、小森邦子、遠田辰芳、井出泰子、勝山袈人、高橋裕子、杉田良子、伊藤ミユキ、辛島 泉、多賀学英、吉梅敏子、薄井坦子、河原益見、松井順子、國生美南子、岡部玉恵、塩田幸代、山口孝治、原田ヨリ子、川南幼稚園、佐土原しづ子、対馬幸枝、吉村勝子、井上志保、沼上照夫、久保田愛子、富山栄子、松田くるみ、守部克己、橋本律子、梶原やす子、里見照子、岡嶋浩幸、伊藤心平、間 妙子、丸山暁美、永野 寛

2005年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。[順不同、敬称は省略させていただきました]

ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

宛先: 特定非営利活動法人 野の花館

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664

phone & fax;0983-23-0701